

健康長寿センター事業

高知県立大学社会福祉学部
リカレント教育講座

知のフィールドへの招待

2011年 10月15日(土)

11月 5日(土)

11月26日(土)

12月10日(土)

高知県立大学社会福祉学部は、社会福祉領域のプロフェッショナルを養成する、四国内で唯一の公立大学です。

さらに、昨年度より西日本でただ一つ、3福祉士資格に対応した公立大学となりました。

ごあいさつ

高知県立大学社会福祉学部
学部長 **前山 智**



日頃は、本学の社会福祉教育にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
ます。

本年度より高知女子大学は、高知県立大学に名称変更し、男女共学化しました。特に本学部は、平成 22 年度より定員を 30 名から 70 名に増員、3 つの福祉士国家資格（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士）に対応しています。現代の複雑な福祉課題に対応可能な専門職養成を目指し、これまでの face-to-face のきめ細やかな教育を継続しながら、専門職養成の量の確保及び質の向上を目標に取り組んでいきたいと考えております。

今年度のリカレント教育講座につきましては、高知県立大学社会福祉学部へ新たに加わった教員を中心に、地域の保健・医療・福祉に携わる専門職の方々や地域にお住まいのみなさまへ向け、社会福祉各領域の講演のみならず新しい試みで展開いたします。

お気軽にご参加頂き、日頃の実践に多少なりともお役立て頂ければ幸いです。

今年度の社会福祉学部リカレント教育講座は バラエティ豊かで**魅力的な講師陣**でお送りします



高知県立大学社会福祉学部
健康長寿センター委員

リカレント教育講座担当 **後藤 由美子**

今年のリカレント教育講座は、4 月に着任した新任教員や例年好評をいただいている教員が担当し、介護や社会保障、理論福祉学、そしてリーダーシップ論に関連するテーマを用意しております。これらは、社会福祉やソーシャルワーク、ケアワークを理解ならびに実践するうえで極めて今日的で重要なテーマであると考えられます。ぜひご関心をもたれているテーマに応じて、ご参加いただければ幸いです。

いずれの講演も、各担当講師が日頃の研究成果をふまえ、熱意をこめてお話ししますので、福祉・医療分野の専門職のみなさま、県民のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

平成23年度 リカレント教育講座①

講演と映画上映

テーマ	ケアのルーツを訪ねて F. ナイチンゲールに学ぶ介護論	日時 (場所)	10月15日(土) 13:00~14:30 (看護福祉棟F110教室)
担当講師	准教授：黒田 しづえ (介護福祉コース教員)	定員	60名
内容	講義形式(映画上映あり) 介護福祉士という専門職が誕生して20余年になりますが、この間にも高齢化の進展は収まらず、加えて人口の自然減という日本国の有史以来の状況が起きています。これらの社会状況の変化に即応すべく、法や制度の改正がなされていますが、その結果として介護職の業務内容も変化を強いられています。 では、介護(ケア)とは何でしょうか?今から約150年も前にフローレンス・ナイチンゲールによって書きあらわされた著「Notes on Nursing(看護覚え書)」は、この点を明確に論じています。今回、映画化されたこの古典的名著をもとに、介護の本質について学ぶ機会を持ちたいと考えています。 講 演 「ケアのルーツを訪ねて」黒田しづえ(高知県立大学社会福祉学部) 映画上映 「病気は回復過程である ナイチンゲール『看護覚え書』より」		
プロフィール	京都府宇治市生まれ。現、独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター付属看護学校を卒業。臨床看護師を経て、訪問看護師として活動する。この時に協働する福祉職種への関心が高まった。特に、介護職種の教育課程に関心を持ったことがきっかけで、平成6年より介護福祉士の養成に携わっている。 佛敎大学(社会学部)卒業、大阪人間科学大学(人間科学修士)修了。 神戸総合医療専門学校介護福祉科、花園大学社会福祉学部、神戸女子短期大学総合生活学科において、教育に携わり、2010年度より現職。		

平成 23 年度 リカレント教育講座②
講 演

テーマ	社会保障制度改革の 動向とゆくえ	日時 (場所)	11月5日(土) 13:30~15:30 (社会福祉学部棟E102教室)
担当講師	教授：田中 きよむ	定員	70名
内容	講義形式		
<p>現在、政府は、「社会保障と税の一体改革」を中心に、社会保障各分野の制度改革を検討しています。年金、医療、介護、保育、障害者福祉、生活保護などは、どのような改革が進められようとしているのでしょうか。また、そのような制度改革は税制とどのように結びつけて実施されるのでしょうか。</p> <p>本講座では、「一体改革」などの最新動向をふくめ、社会保障各分野のこれまでの制度改革の動向と今後のゆくえをできる限りわかりやすく解説するとともに、それらが私たちの生活にどのような影響を与えるかを考えながら、制度改革の課題、問題点と今後の方向についても言及したいと思います。</p>			
プロフィール			
<p>滋賀県大津市生まれ。滋賀大学経済学部・滋賀大学大学院修士課程修了、京都大学大学院博士後期課程単位取得退学後、高知大学教員を経て、2006年度から高知女子大学（現・高知県立大学）教授。</p> <p>（専門教育・研究分野）社会保障論・福祉行財政論・公的扶助論・地域福祉論</p> <p>（著書）・共著『高知の高齢者と保健福祉』（高知市文化振興事業団、1997年） 『介護保険から保健福祉のまちづくりへ』（自治体研究社、2001年） 『新しい公共性と地域の再生』（昭和堂、2006年） 『障害者の人権と発達』（全国障害者問題研究会出版部、2007年） 『財政健全化法は自治体を再建するか』（自治体研究社、2008年） ・単著『少子高齢社会の福祉経済論』（中央法規出版、2004年） 『改訂版 少子高齢社会の福祉経済論』（中央法規出版、2006年） 『少子高齢社会の社会保障論』（中央法規出版、2010年）</p>			

平成 23 年度 リカレント教育講座③

講 演

<p>テーマ</p>	<p>社会福祉とは何か —社会福祉学の原理—</p>	<p>日時 (場所)</p>	<p>11月26日(土) 13:30~15:30 (社会福祉学部棟E102教室)</p>
<p>担当講師</p>	<p>教授：丸岡 利則</p>	<p>定員</p>	<p>70名</p>
<p>内容</p>	<p>講義形式</p> <p>社会福祉とは何か。それは、社会福祉研究の個別領域ごとの諸研究を横に貫いて、「社会福祉学」を確立した体系として統合するような本質（原理）への問いです。かつて社会福祉本質論争に象徴されたように、社会福祉とは何かをめぐって研究者や現場の人々が喧々囂囂たる論争を繰り広げた時期がありました。</p> <p>今やそのような本質を問う原理研究に、誰も手をつけなくなっています。もはやそれを追求する契機を失ってしまっているのでしょうか。言えるのは、社会福祉学の個別の領域が専門分化して、個別に深められて展開されていることです。そのために、これらの領域を横断する原理を追求するには、その領域ごとの専門の到達地点も視野に入れなければならないという限界があります。</p> <p>この講義では、限界を乗り越えるために、もう一度原点に戻ってメタフィジカルな学問論や社会福祉の固有性や独自性という課題から追求する方法などによって、社会福祉学のエッセンスをできるだけわかりやすく説明します。</p>		
<p>プロフィール</p>	<p>大阪府立大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。福祉事務所ケースワーカーなどを経て、2000年から関西福祉大学、本年度から高知県立大学に着任。</p> <p>専門は「理論福祉学」（メタ福祉学）。理論福祉学の体系化をライフワークとしている。</p> <p>その内容は、ソーシャルワーク理論モデルの検討、欧米産の社会福祉関連の学説の紹介と批判的検討、メタ福祉学の構築を典型とする社会福祉学に関する研究の議論、社会福祉関連での歴史的なパラダイムについての議論を中心にしたものである。</p>		

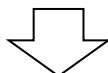
平成 23 年度 リカレント教育講座④

講 演

<p>テーマ</p>	<p>人材定着のマネジメント —高業績の人材を いかに定着させるか—</p>	<p>日時 (場所)</p>	<p>12月10日(土) 13:30~15:30 (共用棟大講義室)</p>
<p>担当講師</p>	<p>講師：福間 隆康</p>	<p>定員</p>	<p>100名</p>
<p>内容</p>	<p>講義形式</p> <p>現代は人材獲得競争の時代であるといわれています。これを逆の面からみると、高業績をあげている人材がいつでも他の組織に流出する可能性がある時代ということになります。組織の人的資源管理の観点からこのような状況をみた場合、重要なキーワードがリテンション（定着）です。</p> <p>さて、現代の企業組織のキャリア発達は、研修やOJT等による、所属している組織における発達がその中心となっています。つまり、組織を抜きにしてキャリアの問題は語ることはできない現状にあります。組織にキャリアを預けるのではなく、場合によっては組織を渡り歩いてでもキャリア発達を図ろうとする職員と、組織への関与を強めることによって職員を引き留め、業績をあげ続けてもらおうとする組織は、いわば逆の関係にあります。</p> <p>ここでは、組織の側に軸足を置き、高業績人材のマネジメントの観点から、今や企業組織だけでなく、多くの病院や福祉施設といったヒューマン・サービス組織の現代的課題であるリテンションの問題について、考えていきます。</p>		
<p>プロフィール</p>	<p>広島大学大学院社会科学研究科博士課程前期マネジメント専攻修了 修士（マネジメント）。</p> <p>1994年より11年間、広島県社会福祉協議会にて採用、人材育成、法人運営などに携わる。2005年より聖隷クリストファー大学社会福祉学部助手、助教、2011年より現職。</p> <p>専門：福祉サービスの組織と経営</p> <p>現在、「ヒューマン・サービス組織の専門職のサービスの質をいかに向上させるか」をテーマに研究を行っている。</p>		

リカレント教育講座の受講お申込方法

リカレント教育講座申込書（別紙）の必要事項にご記入ください
（黒のボールペンなどを用い、楷書ではっきりとお書きください）



申込書をFAXまたは郵送でお送りください

お申込締切は、各講座実施日の1週間前まで

□ お申込先 □

[郵 送]

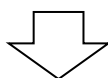
〒781-8515

高知市池 2751-1

高知県立大学社会福祉学部 リカレント教育講座 係

[FAX]

088-847-8672



当日、講座の開催される棟へ直接お越しください
(会場のそばに受付を設置しております)



- いずれの講座も、ご関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。
- 複数の講座を併修可能です。申込者がいない場合、当該講座は開講いたしません。
- 講座はすべて高知県立大学池キャンパスで開催いたします。

平成 23 年度リカレント教育講座申込書

2011 年 月 日

(フリガナ)												
氏 名												
連絡先 □勤務先 □ご自宅	〒											
	TEL						FAX					
	E-mail											
勤務先の名称												
職 種												
↓受講ご希望講座に <input checked="" type="checkbox"/> をつけてください (複数講演の選択 (併修) 可能)												
演 目		ケアのルーツを訪ねて —F. ナイチンゲールに学ぶ介護論—								【H23 年 10 月 15 日 (土)】		
		社会保障制度改革の動向とゆくえ								【H23 年 11 月 5 日 (土)】		
		社会福祉とは何か —社会福祉学の原理—								【H23 年 11 月 26 日 (土)】		
		人材定着のマネジメント —高業績の人材をいかに定着させるか—								【H23 年 12 月 10 日 (土)】		
本学部卒業生の場合記入		高知県立大学社会福祉学部 第 期生										
特記事項												
これまでの受講経験		有 ・ 無 (今回は初めて)										

- 申込者がいない場合、当該講座は開講いたしません。
- この申込書によって知り得た個人情報は「リカレント教育講座」実施の目的以外には利用いたしません。

お申込締切日：各講座実施日の1週間前まで

申込書が足りない場合はコピーしていただくか、高知県立大学社会福祉学部のホームページよりダウンロードしてください。

平成 23 年度リカレント教育講座受講申込書

(必要事項をご記入し、F A Xか郵 送でお申込ください)

お申込先

[郵 送]

〒781-8515

高知市池 2751-1

高知県立大学社会福祉学部 リカレント教育講座 係

[F A X]

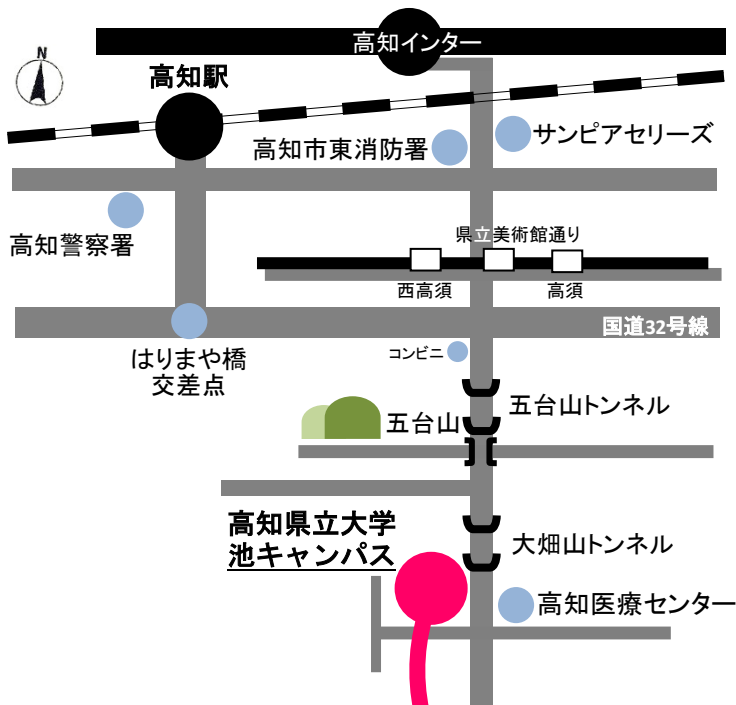
088-847-8672

お申込締切日

各講座実施日の 1 週間前まで

お申込お待ちしております！





- J R 高知 駅から／車で約 20 分
- はりまや橋から／バスで約 20 分
- 高知インターから／車で約 20 分



西駐車場



高知県立大学社会福祉学部

Faculty of Social Welfare, University of Kochi

池キャンパス

〒781-8515 高知県高知市池 2751-1

TEL : 088-847-8757(学部代表)

FAX : 088-847-8672(学部専用)

<http://www.u-kochi.ac.jp/~fukushi/>